学校番号	3028

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳地理探究」（帝国書院）、「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編地理資料 2025」（東京法令出版）「2025 ﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸｵﾌﾞｻﾞﾜｰﾙﾄﾞ」（二宮書店） 「ウィニングコンパス　地理の整理と演習」（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理を学ぶことの意義は、地誌的な知識を吸収すること、地理的な考え方を修得すること、統計等を活用する地理的技能を身に付けることに留まりません。それらをベースとして、日本および世界が直面する様々な社会問題や地理的事象を、私たち自らの手で考察できるようにすることで、平和で民主的な国家・社会を切り拓く総合力を培うことにあります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】データや資料から地理を理解し、文化の多様性を考察できる広い視野を養う。
【思考力・判断力・表現力等】世界史・日本史との関連性を意識しながら地理的思考力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】国際社会に生きる資質を主体的学習を通じて養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることで、地理的事象および課題についての理解を深める。	地理的事象および課題について、統計等の諸資料を活用し、多面的・多角的に考察する力を身に付ける。また、自らの意見や考察結果を、効果的に発信する表現力を養う。	地理的な学びを深め、より良い社会の実現をめざしながら、生徒自ら課題を発見し、主体的に解決しようとする態度を身に付ける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期1	地球環境	①　日本と世界の地形・気候 ②　日本と世界の自然環境	a) 地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b) 地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c) 自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
前期2	資源と産業	①　日本と世界の農林水産業 ②　日本と世界の資源・エネルギー ③　日本と世界の工業の発展	a) 資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b) 資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c) 資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価

前期3	交通・通信と観光，貿易	① 日本と世界の交通･通信 ② 日本と世界の観光 ③ 貿易と経済圏	a) 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b) 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c) 交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
前期4	人口，村落・都市	① 日本と世界の人口問題 ② 日本と世界の村落･都市 ③ 日本と世界の都市･居住問題	a) 人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b) 人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c) 人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価

後期1	生活文化，民族・宗教	① 日本を含む諸国家、諸地域の衣食住 ② 日本を含む諸国家、諸地域の民族・宗教と民族問題 ③ 国家の領域と日本を含む諸国家の領土問題	a) 生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，日本を含む諸国家の領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b) 生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c) 生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
後期2	現代世界の諸地域	① 中国 ② 韓国 ③ ASEAN 諸国 ④ インド ⑤ 西アジアと中央アジア ⑥ 北アフリカとサハラ以南のアフリカ ⑦ EU 諸国 ⑧ ロシア ⑨ アングロアメリカ ⑩ ラテンアメリカ ⑪ オセアニア諸国 ⑫ 日本	a) いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 b) 現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c) 現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価

※ 表中の観点について a：知識・技能 b:思考・判断・表現 c：主体的に学習に取り組む態度